

平成26年度第1回社会教育委員会議会議録

開催日	平成26年9月30日(火)		開会時間	10時00分		
会場	市役所4階 403会議室		閉会時間	10時43分		
委員の出欠状況	関口 正人	出	加藤 聡司	欠	磯崎 茂	出
	鈴木 直幸	出	木村 聡子	出	五十嵐 裕子	出
	小田原紀慧子	欠	川崎 みち子	欠	坂本 真人	出
	○鳥飼 八五良	欠	伊藤 芳夫	欠		
	村山 喜三江	出	長田 真希	出		
	戸部 恵一	出	◎大谷 鐵子	出	◎議長 ○副議長	
傍聴者	なし					
事務局	<p>【教育委員会】大久保教育長、上篠教育部長</p> <p>【生涯学習課】富岡次長兼課長、亀井主幹兼課長補佐、細野統括主査、吉澤主事</p> <p>【スポーツ青少年課】深野課長</p>					
議題	<p>1 平成26年度和光市教育行政の基本目標と重点施策について</p> <p>2 和光市スポーツ推進計画について</p> <p>3 平成26年度社会教育関係団体への補助金交付案について</p> <p>4 社会教育推進に関する意見交換について</p> <p>テーマ「和光市スポーツ推進計画～スポーツを通じて健康で生きがいのある人生を実現するために～」について</p>					

1 開会

2 あいさつ

○大久保教育長

本日はご多用の中ご出席を賜りありがとうございます。本日の大きな議題として、「和光市スポーツ推進計画」について意見交換をしていただくこととなっています。一市民一スポーツを目指した計画となっています。教育委員会ではスポーツを通して佐久市・十日町市・那須烏山市といった防災協定都市との交流にも取り組んでいます。こういった情報も出しながら、ご審議をいただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

3 委嘱式

人事異動により新たに委員となった関口委員（県立特別支援学校・高等学校より選出）へ大久保教育長から委嘱書の交付

○事務局

市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。

4 議題

(1) 平成26年度和光市教育行政の基本目標と重点施策について

○議長（議事進行）

平成26年度和光市教育行政の基本目標と重点施策について、事務局から説明をお願いします。生涯学習課とスポーツ青少年課、それぞれお願いします。

○事務局

資料1「平成26年度和光市教育行政の基本目標と重点施策」に基づき説明。

○戸部委員

デジタルミュージアムは、とてもよい事業だと思いますが実際の利用状況はどうなっていますか。またこれは要望ですが、ボーイスカウトの指導者は市内の情報が必要としており、スポーツ青少年課の青少年問題協議会のメンバーとして入れて頂けたらと思っているので、事務局で検討して頂きたいです。

○議長

それでは事務局いかがですか。

○亀井主幹兼課長補佐

デジタルミュージアムについて、平成25年度の閲覧数は17,439件、平成24年度に集計を始めてから平成26年9月1日現在までで39,907件となっています。

○議長

青少年問題協議会の件については要望ということによろしいですか。

○戸部委員

はい。

○議長

ほかにございますか。

○鈴木委員

今のデジタルミュージアムに少し関連して、今年度の計画には載せられないとは思いますが、歴史的文化資源の保護・活用を推進する中で、今後デジタルだけではなく博物館を整備していくかどうかという部分についての長期的な方針はいかがでしょうか。

○亀井主幹兼課長補佐

確かに、現在郷土資料館相当のものは和光市にはございません。そのため、デジタルミュージアムを製作したところです。和光市には午王山という貴重な文化財がございます。昨年度、その一部を市の指定文化財に指定いたしました。その午王山に郷土資料館ができれば市民のみなさんに喜んで頂けるのではないかと思います。まだ予算要求の段階なので決まってはおりませんが、検討委員会の設置について実施計画に挙げているところです。

○大久保教育長

今話があったように、午王山を一体的な歴史公園にしていきたいという構想を持っています。ただ民地も含むエリアですので、徐々に進めていきたいと考えています。

○坂本委員

朝霞台に博物館があります。各市がそれぞれに博物館を持つよりも、歴史的に一体なので合同でそういうものを持つことができないのでしょうか。歴史というのは行政区画とは別なのですから、協力して合同で遺跡なり遺物なりを活用するというのを考えて頂けるといいなと思います。デジタルミュージアムには期待していますが、やはり実物を見るということは大事なことです。

○大久保教育長

おっしゃるとおりで、広域という考え方もあるのですが、なかなか広域でやっていく事業というのは難しい側面もあります。例えば指定文化財にしても市・県・国がそれぞれに指定しています。ですから、武蔵野台地一体が総合的な指定文化財とできれば前向きになるのかと思いますが、ご意見を頂きましたので、可能性のある・なしに関わらずお話をさせて頂きたいと思います。

○議長

では次に、議題2の和光市スポーツ推進計画について事務局から説明をお願いいたします。

(2) 和光市スポーツ推進計画について

○事務局

資料2・3に基づき説明。

○議長

では、この計画につきまして、皆さんからご質問などありましたらお願いします。

○磯崎委員

7 ページの図を見ますと、荒川下水処理場上部の運動場が載っていませんが、計画が中止になったのかどうか、進捗についてお伺いしたい。また、坂下テニスコートのように借地に立地している施設が継続できなくなった場合の代替については計画の中で触れていませんが、その点についての状況を伺いたいです。

○深野課長

アーバンアクアについては 26 年度～28 年度の 3 ヶ年で計画をしております、位置づけとしては公園施設となるためこの図には記載しておりません。借地の庭球場については、地権者の方と協議をして、可能な限り市民のために庭球場として利用することにご理解を頂きながら、今後も継続していきたいと考えています。

○議長

他にございますか。

○五十嵐委員

用語についてお伺いしたいのですが、19 ページに「総合型地域スポーツクラブ」と記載されていて、63 ページの用語説明にも記載されているのですが、これは和光市にある体育館のようなものではまかなえないものなののでしょうか。具体的にどのようなものなのかももう少し説明を頂けたらと思います。

○深野課長

これは、気軽に誰もが参加できるようなレクリエーションから競技スポーツまで、幅広いスポーツができる環境を整備していくものです。20 ページの中目標(2)にもあるとおり、平成 32 年度までに 1 クラブ設置しようという計画になっています。NPO 法人を設立して、そのようなスポーツクラブを設置していこうという計画で動いています。

○坂本委員

これは要望になると思いますが、この計画には載っていませんが、新たに新倉に小学校が新設されると聞いています。学校を中心として地域のコミュニティを活発にしようということで複合施設として運動もできるように計画されています。そこを最初の取っ掛かりとしてスポーツ推進計画の具体化を進めてほしいと思います。また、我々の年代は、場所と機会があればやりたいという需要はいくらでもあるように思います。ただ自分から探して参加しようというところにはなかなか至っていないのではないかと。そういう層を行政がどのように掘り起こしていくか、それが大事だと思います。広報が重要だと思いますが、インターネットが不得意なアナログ世代に対する PR の仕方を考えて頂きたいと思います。

○関口委員

25 ページに「観る」スポーツとありますが、ぜひこの点を推進して頂きたいと思います。ずいぶん前に、日本の女子ソフトボールがオリンピックで銀メダルを取ったことがあります。当時、勤務していた朝霞高校では、社会人リーグのチームの練習場としてグラウンドを提供したことがありました。その際、試合の観戦に生徒たちをお誘いいただきました。中学生・高校生にとって本物を見るということは大事なことだと思いますので、ぜひ社会人リーグ・大学リーグなどの試合の誘致活動をお願いしたいと思います。

(3) 平成26年度社会教育関係団体への補助金交付案について

○事務局

資料4「平成26年度社会教育関係団体への補助金交付案」に基づき説明。

○議長

今説明のあった補助金交付について、みなさんからご質問等あればお願いします。

～「ありません」の声あり～

○議長

では、ないようでしたら事務局には各団体へ交付の手続きを進めて頂きたいと思います。

(4) 社会教育推進に関する意見交換について

【テーマ】「和光市スポーツ推進計画～スポーツを通じて健康で生きがいのある人生を実現するために～」について

○議長

先ほど議題(2)で説明のありました和光市スポーツ推進計画について、皆さんと意見交換をしたいと思います。お一人ずつ、坂本委員から順番にお願いします。

○坂本委員

国際的な大会で活躍されている方の試合を実際に見たり、指導を受けたりする機会があればと思います。スポーツを通してもっと街のPRをしていただけたらと思います。また、女子がもっとスポーツに親しむ機会を作ることが必要であると考えます。家族ぐるみで参加できるマラソンもよい取り組みだと思います。

○村山委員

毎年ロードレースフェスティバルでは親子で参加する部門があり、非常にたく

さんの方にご参加頂いています。現在、市との協働事業として運動場の空き地を活用した事業の展開を企画しているところです。有名な選手をお呼びして本格的な大会を開いたらどうかというご意見でしたが、総合体育館は1年前から土日の予約は空きがない状況です。また、市内でナイトスポーツができる屋外施設が足りない状況で、運動場にナイター設備があればありがたいと思います。施設や設備がもっと充実すれば、活発に事業を展開していきたいと体育協会としての前向きな姿勢として考えています。

○大谷議員

今ロードレースの話が出ましたが、すわ緑風園の皆さんも最近レースに参加するようになって、とてもいい機会と喜んでいました。

○村山委員

障害のある方にも参加していただきやすいよう、コース設定等を工夫していけたらと思っています。

○五十嵐委員

学校施設を使ってさまざまな団体がスポーツ活動をしています。子どもがスポーツに関心を持ったときに、できるだけ身近に体験させてあげられるよう、学校でどのようなスポーツ活動がされているのか見せて頂く機会があると、いいきっかけになると思います。

また、小学校のプールについて、検定のようなはっきりした目標があったり、その取り組みとして8月後半もプールができるようになればもっと充実するのではないかと思います。

○大久保教育長

検定については、学年ごとに泳力の測定はします。

プールの開放については広沢小や第三小のプールを開放して体育協会と連携しながら開放しています。空いているプールは開放したいと思っていますし、以前のように育成会等、地域で使って頂く分には結構なのではないかと思います。新設校については温水ではありませんが屋内プールで、使えるシーズンも長くなりますので、一般への開放を検討しているところです。

○鈴木委員

白子小学校では、夏休みに8月6日まで12回のプール教室を行いました。延べ3,000名を超える子どもたちが参加しました。先生方が当番をやりながら、学年に応じたプールカードを持たせて実施している状況です。今は1学期の評価の中にプール授業を入れてしまうので、8月の中旬以降はプール指導をしておりません。新設校では市民への開放を含めた取り組みがもっと広がっていくのではないかと

思います。検定のお話がありましたが、6年生は7月に水泳記録会というのを行っています。市内8校が記録を持ち寄って市内の記録賞を出しています。それに向けて、1年生から5年生はプールカードに沿って「浮けるようにしよう」「バタ足で10メートル泳げるようにしよう」といった目標を持って取り組んでいます。

○村山委員

体育協会では11月の第1日曜にスポーツ体験フェスタをやっています。ぜひその機会に参加していただいて、自分の興味のあるスポーツを見つけて頂ければと思います。

水泳教室はこれまで児童センターのプールを使って実施していましたが、現在使用できないため、小学校のプールで開催しています。今後さらにPRしていきたいと思います。

○磯崎委員

荒川の土手にはウォーキングやサイクリングをする人がたくさんいます。彩湖までつながるコースが整備されるといいと思います。また、市内から荒川の土手までのアクセスを良くするとかなり便利になるのではないのでしょうか。

○長田委員

わたしは仕事で子育て支援施設に携わっています。最近のお母さん方はアンテナが高く、育休中に総合体育館やアクシスでやっている親子参加の講座などに参加されている方も多いです。しかし、育休が終わり職場復帰してしまうと、忙しくてスポーツをする時間がない方が多いように思うので、継続してスポーツをできるようにうまく時間を作って簡単に気軽にできるものがあれば皆さんが参加しやすいと思います。また、子育て世代だけに特化した取り組みをやるよりも、いろいろな世代と一緒にできるようなものがあると良いと思います。お子さんを預けて自分だけスポーツをしようと思うよりも、お子さんと一緒にちょっと身体を動かすということのほうが気持ち的により参加しやすいのではないかと思います。

○木村委員

先日、先生がおもちゃをたくさん持ってきて下さって、お子さんを傍で遊ばせながら参加するエアロビクスの教室がありました。そうすると、子どもは安心して長時間でも十分過ごせる様子だったので、特に託児室は設けなくてもやり方はあるんだなと思いました。また、放課後子ども教室のスポーツ教室の充実は、スポーツ意識を高めることにつながると期待しています。和光市はボクシングやレスリングのオリンピック選手が住んでいる街でもあり、指導ができる方はたくさんいらっしゃるので、そういう方のボランティアを募集して子どもも大人も参加できる教室を開くのもいいのではないかと思います。

○戸部委員

ぜひスポーツ推進計画の目標が達成されればいいと思います。また、他の自治体を参考に、総合型地域スポーツクラブが和光から発信できるといいと思います。

○鈴木委員

本校では先日県の障害者スポーツの団体サッカーの一流選手を派遣していただき、特別支援学級の児童が校庭で楽しくサッカーをしました。そのような一流選手との交流機会をぜひ市で作って頂けたらと思います。また、最近子どもたちがボール遊びができる公園がないと言われていています。ボール遊びができる場所が必要だと思います。2年前のロンドンオリンピックの後、教育委員会の協力でメダリストが各学校で講演をしてくださいました。とても素晴らしいことだと思うので、今後もやっていけるといいと思います。

○関口委員

推進計画の21ページに中学校部活動の運動部の加入率を平成24年度の59%から平成32年度は70%に引き上げるとの目標となっています。本校では運動部の加入率は57%です。中学校での運動部加入率を上げることが、高校での運動部加入率の向上につながりますので、ぜひこの点は取り組んで頂きたい。中学校で燃え尽きてしまうのではなくて、高校に入っても同じ種目を続けられるような指導をしていただければと思います。本校では、本校を卒業した大学生にコーチとして来てもらったりもしています。外部指導者の活用も大切だと思います。

○大谷議長

貴重なご意見ありがとうございました。今のご意見を伺いますと、わたしたちが社会教育委員として自分たちですぐできることから取り組み、またその経験を活かしていければと思います。事務局もぜひ今のご意見を事業に活かしていただければと思いますのでよろしくお願いします。

(9) その他

- ・古民家愛好会から文化財講座「古民家と地域の伝統体験講座」のPR
- ・事務局からデジタルミュージアムのPR

5 閉会